

**TTC標準**  
Standard

JT-G9972

有線ホームネットワーク送受信器  
共存メカニズム

Coexistence mechanism for wire-line home  
networking transceivers

第1版

2011年5月31日制定

一般社団法人  
情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE



本書は、一般社団法人情報通信技術委員会が著作権を保有しています。  
内容の一部又は全部を、一般社団法人情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

目次

|                                 |   |
|---------------------------------|---|
| <参考>.....                       | 4 |
| 1. 標準の概要.....                   | 6 |
| 2. 本標準で規定する内容.....              | 6 |
| 2.1 原勧告に対して、下記の各内容を追加規定する。..... | 6 |

## ＜参考＞

### 1. 国際勧告等との関係

本標準は、国際電気通信連合電気通信標準化部門（ITU-T）において標準化された ITU-T 勧告 G.9972 (06/2010)に準拠している。

### 2. 上記国際勧告等に対する追加項目等

#### 2. 1 オプション選択項目

なし

#### 2. 2 国内仕様として追加した項目

以下の各項目を本標準の一部として追加する。

（項目 1）関連 TTC 標準

（項目 2）IEEE 1901 標準との整合

#### 2. 3 原勧告に対する変更項目

なし

#### 2. 4 原勧告との章立て構成比較表

表＜参＞2. 1 原勧告との章立て構成比較表

|          | 原勧告項目名                                 | 本標準項目名               | 本標準への適用    | 記事                  |
|----------|--|----------------------|------------|---------------------|
| 1 章～14 章 | (省略)                                   | (省略)                 | 構成、章立に相違なし | 構成、章立について、変更なしで適用する |
| Annex A  | G.996x Coexistence Management Messages | G.996x 共存マネジメントメッセージ | 適用する       |                     |

### 3. 改版の履歴

| 版数    | 制定日             | 改版内容 |
|-------|-----------------|------|
| 第 1 版 | 2011 年 5 月 31 日 | 制定   |

### 4. 工業所有権

本標準に関わる「工業所有権等の実施に係る確認書」の提出状況は、TTC ホームページで御覧になれます。

### 5. その他

(1) 参照する主な勧告、標準

[1] ITU-T 勧告 G.9972, Coexistence mechanism for wire-line home networking transceivers (06/2010)

[2] ITU-T 勧告 G.9960, Unified high-speed wire-line based home networking transceivers – System architecture and physical layer specification (06/2010)

[3] ITU-T 勧告 G.9961, Unified high-speed wire-line based home networking transceivers - Data link layer specification (06/2010)

[4] IEEE 標準 1901, Broadband over Power Line Networks: Medium Access Control and Physical Layer Specifications (09/2010)

[5] JT-G9960 (本標準と同時制定予定)

[6] JT-G9961 (本標準と同時制定予定)

(2) 本標準の内容は準拠元である上記 ITU-T 勧告[1]によっている。本標準を使用する場合は、上記原勧告と本標準を参照する必要がある。

(3) 他の電力線ネットワークとの共存について

- G.9961 の 8.15 章は、電力線上での G.9960/G.9961 (JT-G9960/JT-G9961) と非互換ネットワークとの干渉を和らげる共存プロトコルとして G.9972 の利用方法を規定している。なお、その中において、干渉回避の必要性がない場合の G.9972 信号停止手順を規定している。
- また、同章では、非互換ネットワークが接続される可能性がある場合には、干渉による性能低下を避けることを目的として、G.9972 の利用が強く推奨されている。

## 6. 標準作成部門

第 1 版 : 次世代ホームネットワークシステム専門委員会

## 1. 標準の概要

本標準は、宅内の電話線、同軸ケーブル、電力線あるいはこれらの配線の組合せを使用した、ホームネットワーク用送受信器規定である JT-G9960 および JT-G9961 が電力線上で動作するに際し、同一電力線上に他の電力線通信方式が存在する場合、それらと共存できる仕様を規定する。

本標準は JT-G9960 および JT-G9961 と相補関係にあり、これらの標準を組み合わせて使用することを想定している。

## 2. 本標準で規定する内容

本標準で規定する内容は、下記の ITU-T 勧告による。本標準で追加規定した部分については、下記の ITU-T 標準に優先する。

[1] ITU-T 勧告 G.9972, Coexistence mechanism for wire-line home networking transceivers (06/2010)

### 2. 1 原勧告に対して、下記の各内容を追加規定する。

#### (1) 関連 TTC 標準

本標準は、JT-G9960（システムアーキテクチャ）（物理層）および JT-G9961（データリンク層）と合わせて使用すること。

#### (2) IEEE 1901 標準との整合

本標準が使用される場合、他の電力線通信方式（IEEE 1901 標準）との共存を目的として使用される。これらが正常動作すること。